

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「主権者教育」	茨城県立波崎高等学校	全日制普通科・工業科

ア 実施状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校で行われている「主権者教育」については、特に教育課程編成上で位置づけていない。
- ・平成27年度第1学年「総合的な学習の時間」、平成28年度第2学年「LHR」で実施。
- ・「現代社会」、「政治経済」の授業で重点的に実施。

(授業展開)

- 【模擬選挙】各クラスの副担任5名が、本校の「校長」に立候補するという、「校長選挙」を実施した。
- 【内容】趣旨説明→マニフェストを公表→第1回世論調査→立会演説会、党首討論会→第2回世論調査→クラス演説会（各クラスを回り演説）→第3回世論調査→週刊誌発行（メディアリテラシー教育）→投票→結果分析（グループ学習）

② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・ICT活用やアクティブ・ラーニングの研修会等に積極的に参加するなど、教員の意識が醸成され、新たな授業研究の意識が高まっている。
- ・地歴・公民科の教員を中心に、授業との関連、実施方法、題材、掲示物など指導体制を検討した。

(外部人材の活用)

- ・神栖市選挙管理委員会が「有権者になるにあたって」というテーマで出前授業を実施。

③ 校内組織

- ・主権者教育実行委員（教務主任、学年主任、地歴公民科、特活係）…実施要項、マニュアル作成
- ・選挙管理委員（特活部生徒会係、各クラスの選挙管理委員）…資料、投票用紙の作成。

④ 施設設備

- ・多目的教室（200名）→立会演説会や討論会で使用
- ・教室（40名5クラス）→クラス別演説会や投票所として使用

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・県教育委員会主催「政治的教養を育む教育に係る研修会」で取組を発表した。
- ・神栖市青年会議所主催の講演会にて「高校生の主権者教育」というテーマで発表し、地域と共に実施上の課題について検討している。
- ・新聞各社で取り上げられたことから、市の選挙管理委員会から積極的な協力を得た。

⑥ その他

- ・市の選挙管理委員会と、「高校生の投票率を上げるには」というテーマで協議した。高校生の場合は、部活動や模擬試験等で投票率が低くなることが予想される。そのため、学校内での「期日前投票所の設置」などを要望したが、認められなかった。

イ 今後の課題

- ・今の高校生は、スマホが情報ツールであり、テレビや新聞などを見る生徒が少ない。よって、候補者や政党の情報集めをどのようにするかが課題となる。
- ・「現代社会」、「政治経済」の指導計画作成の際に、政治的教養の育成を重視するためには、具体的な事象を取り上げなければならない。その授業について、教師側の指導が、保護者や地域に誤解される可能性もある。
- ・学校で「主権者教育」を行う場合、学校格差や教員格差がでてくることが予想される。
- ・高校生の選挙活動に関する教育の徹底として、「禁止事項（高校生の選挙運動）」への対応について、各学校に任されているものなのか。